



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 SIホールディングス株式会社
 コード番号 7070 URL <https://www.si-hd.co.jp> 上場取引所 東
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 市田 義幸 TEL 03 (6910) 3870
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,153	13.0	654	47.7	720	90.5	447	59.1
2020年3月期	8,102	-	443	-	378	-	281	-

(注) 包括利益 2021年3月期 447百万円 (153.3%) 2020年3月期 278百万円 (%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	40.83	40.83	19.8	10.9	7.1
2020年3月期	25.66	25.66	15.4	7.9	5.5

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	6,591	2,262	34.3	206.60
2020年3月期	4,814	1,826	37.9	166.79

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,262百万円 2020年3月期 1,826百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	810	△63	829	2,100
2020年3月期	△33	△89	△94	524

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	-	-	-	1.00	1.00	10	3.9	0.7
2021年3月期	-	0.00	-	1.00	1.00	10	2.5	0.5
2022年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2022年3月期の配当予想額につきましては未定とさせていただきます。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから未定とし、記載いたしておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表するように努めます。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	11,330,000株	2020年3月期	11,330,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	379,268株	2020年3月期	379,368株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	10,950,682株	2020年3月期	10,950,632株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 次期の見通し	2
(3) 当期の財政状態の概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度において、世界経済は第1四半期以降回復の兆しがみられるものの、米中の通商問題や対立、新型コロナウイルス感染症の拡大が経済活動に影響を及ぼし、先行き不透明な状況が続きました。国内経済においても新型コロナウイルス感染症が拡大し、政府は特に感染拡大の大きい都道府県に対して二度の緊急事態宣言を発出し、感染者数増加を抑える施策をとることによって経済活動に改善の動きがみられました。しかし、第4四半期に入って再び感染者数の拡大が続き、国内経済は悪化、停滞し、先行き不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと当社グループに於いては、ご利用者と従業員の安全を最優先に考えて感染症対策本部を設置し、感染防止の取り組みを進めてまいりました。企業理念である「社会的価値と経済的価値の統合による企業価値の最大化」と「価値創造の永続的連鎖」を実現するために、『豊かな超高齢社会創造計画』として、①高齢者住宅インフラ整備プロジェクト、②高齢者向け生活支援サービス整備プロジェクト、③経営支援サービス推進プロジェクトの3つのプロジェクトを推進しています。

①においては、2013年度から、『総合ケアセンター』をブランド名とする、主に要介護者を対象とするセンター事業を開始。2016年6月、単独通所介護事業を分割事業譲渡して以降は、センター事業に経営資源を集中して、2018年度に黒字化を達成。センター事業のサービスモデルの改善を推進して、更なる業容拡大を目指しています。

②、③においては、2013年度からは子会社にてフード事業と建設事業、2017年度からは物販事業、2018年度からは人材事業、2019年度からは健康食品事業、スキンケア事業、配食事業を開始しました。2020年度は新たにEコマース事業、フリマ事業、メディア事業、ライフサポート事業等を開始しました。

当連結会計年度のケアセンター事業(注1)は新型コロナウイルス感染症の影響でデイサービスのご利用者の利用控えが発生しました。また、クラスターの発生により、複数のセンターにおいてデイサービスの提供が一時的に休止しましたが、いずれにも感染症対策を適切に進めて影響を最小限に食い止め、営業努力と経費削減を推進して前年度対比増収増益となりました。

フードサービス事業においても新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、営業を強化して外部販売を伸ばすことが出来ました。また、その他事業においては新たにスタートしたEコマース事業、ライフサポート事業等、生活支援、健康支援、活躍支援を目指した多様で高品質な商品やサービスの提供による業容の拡大と、営業活動を推進しました。その結果、前年度対比増収増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度における当社の営業収入は9,153,318千円(前期比13.0%増)、営業利益は654,638千円(前期比47.7%増)、経常利益は720,096千円(前期比90.5%増)、当期純利益は447,130千円(前期比59.1%増)となりました。

(注1)

当社グループは2021年4月、花小金井に新しく施設を開設しました。これにより当グループの営業拠点は、高齢者向け住宅「なごやかレジデンス」70か所、直営通所介護事業の「かがやきデイサービス」70か所、居宅介護支援事業の「なごやかケアプラン」5か所になります。またフランチャイズ事業は、通所介護事業所「ホームケアセンター」等が22か所あります。

(2) 次期の見通し

当社グループの中長期経営計画の基本方針は不変であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済は先行き不透明な状況が続いており、総合ケアセンターの運営や展開などへの相当程度の影響が継続する可能性があります。

このような中、当社グループは、『豊かな超高齢社会創造計画』における3つのプロジェクトを、グループの総力を結集し、引き続き強力に推進してまいります。

そのうえで、中核会社である株式会社やまねメディカルの対処すべき課題である総合ケアセンターの新設、有能な人材の確保・育成に積極的に取り組むことで、短期的利益を確保しつつ中長期的成長力の向上に努めてまいります。特に、総合ケアセンターにおいては、サービス品質をさらに向上させるとともに、提供サービスを拡充し、その優位性を積極的に訴求することを通じて収益拡大を図ります。

また、フードサービス及びその他事業においては、高齢者への生活支援、健康支援、活躍支援を目指した商品やサービスラインナップの充実を積極的に推進し、営業力を強化して収益拡大の加速を図ります。

2021年3月期第4四半期以降、新型コロナウイルスの感染者数は再び拡大が継続しており、事業環境の見通しは不透明な状況が続いています。2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で当グループの事業への影響額を適正かつ合理的に算定することが困難であるため、未定としています。今後、業績への影響を精査し、合理的な予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表するように努めます。

(3) 当期の財政状態の概況

(財政状態の概要)

当連結会計年度末における資産合計は6,591,802千円となり、前連結会計年度末に比べ1,777,213千円増加いたしました。その内訳につきましては、流動資産が3,723,011千円、固定資産が2,866,283千円、繰延資産が2,506千円であります。

負債合計は4,329,345千円となり、前連結会計年度末に比べ1,341,659千円増加いたしました。その内訳につきましては、流動負債が1,059,983千円、固定負債が3,269,362千円であります。純資産合計は2,262,456千円であります。

これらの主な要因は次の通りです。

(資産の部)

①流動資産

当連結会計年度末における流動資産は3,723,011千円となり、前連結会計年度末に比べ1,776,756千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が、1,576,198千円増加したことによるものであります。

②固定資産

当連結会計年度末における固定資産は2,866,283千円となり、前連結会計年度末に比べ1,114千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加と、繰延税金資産の減少により投資その他資産が減少したことによるものです。

③繰延資産

当連結会計年度末における繰延資産は2,506千円となり、前連結会計年度末に比べ659千円減少いたしました。これは減価償却が進んだことによるものであります。

(負債の部)

①流動負債

当連結会計年度末における流動負債は1,059,983千円となり、前連結会計年度末に比べ372,855千円増加いたしました。これは主に売上増に伴う買掛金の増加及び、未払金法人税等の増加、等によるものであります。

②固定負債

当連結会計年度末における固定負債は3,269,362千円となり、前連結会計年度末に比べ968,804千円増加いたしました。これは新型コロナウイルス対応の様々な支出にそなえるに為、資金の拡充をはかったものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産合計は2,262,456千円となり、前連結会計年度末に比べ435,554千円増加いたしました。この結果、自己資本比率は34.3%となりました。

(キャッシュ・フローの概況)

当連結会計末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、2,100,856千円となり、前連結会計年度末に比べ1,576,198千円増加いたしました。これは新型コロナウイルス対策のため財務活動を強化したことによるものであります。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は810,705千円となりました。これは主に、税金等調整前純利益720,276千円、減価償却費160,569千円等の資金増加要因によるものです。資金減少要因としては、売上債権の増加108,674千円、未払金及び未払費用の増加3,933千円等がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は63,645千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出63,158千円、無形固定資産の取得による支出3,214千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果取得した資金は829,137千円となりました。これは主に長期借入金935,000千円の増加によるものであります。

(参考)当社グループの株主資本に関する指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2017年3月期 (連結)	2018年3月期 (連結)	2019年3月期 (連結)	2020年3月期 (連結)	2021年3月期 (連結)
株主資本比率(%)	30.9	27.4	33.6	37.9	34.3
時価ベースの株主資本 比率(%)	48.5	66.5	107.7	67.1	99.7

- ・株主資本比率：株主資本／総資産
- ・時価ベースの株主資本比率：株式時価総額／総資産

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注2) キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在、日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,658	2,100,856
営業未収入金	1,285,233	1,442,018
その他	161,751	200,286
貸倒引当金	△25,388	△20,149
流動資産合計	1,946,255	3,723,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,645	22,255
減価償却累計額	△3,179	△4,570
建物及び構築物(純額)	13,466	17,685
機械装置及び運搬具	12,806	14,375
減価償却累計額	△8,996	△11,175
機械装置及び運搬具(純額)	3,810	3,200
リース資産	2,547,628	2,687,293
減価償却累計額	△472,373	△579,490
リース資産(純額)	2,075,255	2,107,803
その他	249,587	263,853
減価償却累計額	△143,689	△173,108
その他(純額)	105,897	90,745
有形固定資産合計	2,198,428	2,219,433
無形固定資産		
ソフトウェア	5,737	5,013
その他	1,407	2,972
無形固定資産合計	7,144	7,986
投資その他の資産		
敷金及び保証金	608,379	605,650
繰延税金資産	46,612	29,348
その他	4,607	3,864
投資その他の資産合計	659,598	638,862
固定資産合計	2,865,169	2,866,283
繰延資産		
開業費	3,165	2,506
繰延資産合計	3,165	2,506
資産合計	4,814,589	6,591,802

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,352	235,722
リース債務	83,687	107,366
未払法人税等	21,830	244,310
未払金	349,679	348,816
賞与引当金	13,845	25,496
預り金	54,327	62,091
その他	29,407	36,180
流動負債合計	687,128	1,059,983
固定負債		
長期借入金		935,000
リース債務	2,113,821	2,144,685
退職給付に係る負債	3,961	4,056
資産除去債務	25,950	26,331
長期預り敷金	156,826	159,288
固定負債合計	2,300,558	3,269,362
負債合計	2,987,686	4,329,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	501,788	501,782
利益剰余金	1,390,934	1,827,172
自己株式	△166,543	△166,498
株主資本合計	1,826,180	2,262,456
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	307	-
その他の包括利益累計額合計	307	-
新株予約権	415	-
純資産合計	1,826,902	2,262,456
負債純資産合計	4,814,589	6,591,802

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収入	8,102,590	9,153,318
営業原価	6,694,048	7,381,440
営業総利益	1,408,542	1,771,877
販売費及び一般管理費	965,465	1,117,239
営業利益	443,077	654,638
営業外収益		
受取手数料	2,452	467
受取保険金	943	-
貸倒引当金戻入額	-	126
賞与引当金戻入額	-	3,941
償却債権取立益	-	516
助成金収入	-	158,874
雑収入	1,781	12,540
営業外収益合計	5,176	176,467
営業外費用		
支払利息	69,234	65,555
固定資産圧縮損	-	32,967
雑損失	966	12,486
営業外費用合計	70,200	111,009
経常利益	378,052	720,096
特別利益		
固定資産売却益	609	-
新株予約権戻入益	1,197	402
その他	23	-
特別利益合計	1,830	402
特別損失		
固定資産除却損	-	223
特別損失合計	-	223
税金等調整前当期純利益	379,882	720,276
法人税、住民税及び事業税	30,614	255,881
法人税等調整額	68,247	17,263
法人税等合計	98,861	273,145
当期純利益	281,021	447,130
親会社株主に帰属する当期純利益	281,021	447,130

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	281,021	447,130
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△2,674	0
その他の包括利益合計	△2,674	0
包括利益	278,347	447,130
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	278,347	447,130
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	100,000	458,755	1,120,863	△123,570
当期変動額				
株式移転による増加		43,033		△42,033
剰余金の配当			△10,950	
親会社株主に帰属する当期純利益			281,021	
新株予約権の行使				60
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計		43,033	270,071	△42,973
当期末残高	100,000	501,788	1,390,934	△166,543

	株主資本	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	株主資本合計	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,556,049	2,981	2,981	1,218	1,560,248
当期変動額					
株式移転による増加					
剰余金の配当	△10,950				△10,950
親会社株主に帰属する当期純利益	281,021				281,021
新株予約権の行使	60				60
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△2,674	△2,674	△802	△3,476
当期変動額合計	270,131	△2,674	△2,674	△802	266,655
当期末残高	1,826,180	307	307	415	1,826,902

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	100,000	501,788	1,390,934	△166,543
当期変動額				
株式移転による増加				
剰余金の配当			△10,950	
自己株式の処分		△5		
その他			58	
親会社株主に帰属する当期純利益			447,130	
新株予約権の行使				43
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計		△5	436,238	43
当期末残高	100,000	501,782	1,827,172	△166,498

	株主資本	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	株主資本合計	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,826,180	307	307	415	1,826,902
当期変動額					
株式移転による増加					
剰余金の配当	△10,950				△10,950
自己株式の処分	△5				△5
その他	58				58
親会社株主に帰属する当期純利益	447,130				447,130
新株予約権の行使	43			△415	△372
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△307	△307		△307
当期変動額合計	436,276	△307	△307	△415	435,554
当期末残高	2,262,456	-	-	-	2,262,456

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	379,882	720,276
減価償却費	155,170	160,569
固定資産売却損益(△は益)	△609	242
固定資産圧縮損	-	32,967
新株予約権戻入益	△1,197	△415
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△302	14,815
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,545	11,651
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,247	△518
支払利息	69,234	65,555
売上債権の増減額(△は増加)	△505,945	△108,674
仕入債務の増減額(△は減少)	73,816	101,369
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△72,148	3,933
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△147	2,463
長期前払費用の増減額(△は増加)	△1,377	-
その他	△25,076	△82,349
助成金収入	-	△158,874
小計	64,508	763,377
利息の支払額	△66,764	△65,555
法人税等の支払額	△31,283	△23,268
助成金の受取額	-	136,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,539	810,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,189	△63,158
有形固定資産の売却による収入	1,156	-
無形固定資産の取得による支出	△3,860	△3,214
敷金及び保証金の差入による支出	△24,873	△1,028
敷金及び保証金の回収による収入	-	3,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,767	△63,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の増減額(△は減少)	-	935,000
配当金の支払額	△10,950	△10,950
リース債務の返済による支出	△83,809	△94,955
自己株式の売却による収入	-	43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,759	829,137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△218,065	1,576,197
現金及び現金同等物の期首残高	742,724	524,658
現金及び現金同等物の期末残高	524,658	2,100,856

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

2. フードサービス事業は当社グループ会社（主に株式会社やまねメディカル）及び外部の企業等への給食提供サービスであります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	ケアセンタ ー事業	フードサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,106,604	945,316	8,051,920	50,670	8,102,590		8,102,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	501,045	501,045	133,542	634,587	△634,587	—
計	7,106,604	1,446,361	8,552,965	184,212	8,737,177	△634,587	8,102,590
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	417,171	110,736	527,907	△63,014	464,893	△21,816	443,077
セグメント資産	4,461,618	94,262	4,555,880	201,708	4,757,588	57,001	4,814,589
その他の項目							
減価償却費	153,892	141	154,033	1,130	155,163	7	155,170
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	58,791	1,615	60,406	6,483	66,889	634	67,523

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社八重洲ライフのEC事業他と株式会社キャリアアップ及び山清建設株式会社の事業であります。

2. 「調整額」は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△634,587千円は、内部売上高であります。

(2) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△21,816千円は、SIホールディングス株式会社の子会社4社に対する経営指導料等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表営業利益との調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額
	ケアセンタ ー事業	フードサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,730,931	1,331,699	9,063,601	89,717	9,153,318		9,153,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高		595,378	595,378	351,674	947,052	△947,052	
計	7,730,931	1,928,048	9,658,979	441,390	10,100,369	△947,052	9,153,318
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	665,447	136,323	801,770	△112,222	689,548	△34,908	654,638
セグメント資産	5,969,107	390,977	6,360,084	176,244	6,536,329	55,472	6,591,802
その他の項目							
減価償却費	155,727	853	156,580	3,601	160,182	386	160,569
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	168,989	1,524	170,513	10,673	181,187	73	181,260

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品事業、健康食品事業、人材紹介・人材派遣事業等を含んでおります。

2. 「調整額」は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△947,052千円は、内部売上高であります。

(2) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各セグメントに配布していない全社収益49,440千円及び全社費用△54,901千円、その他の調整額△29,447千円が含まれております。全社収益は、各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営にかかる費用であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表営業利益との調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

海外売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

海外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主要な顧客は一般個人であり、売上高はセグメント情報に記載のとおりであります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

海外売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

海外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主要な顧客は一般個人であり、売上高はセグメント情報に記載のとおりであります。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	166.79円	206.60円
1株当たり当期純利益	25.66円	40.83円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	25.66円	40.83円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,826,902	2,262,456
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	415	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,826,487	2,262,456
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(千株)	10,951	10,951

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益	25.66	40.83
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会 社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	281,021	447,130

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	281,021	447,130
期中平均株式数(千株)	10,951	10,951
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	25.66	40.83
親会社株式に帰属する当期純利益調整額(千円)	281,021	447,130
普通株式増加数(千株)	0	0
(うち新株予約権(千株))	(0)	(0)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。